

本市には、様々な企業が立地しています。市民の皆さんはどのような企業が立地し、そこでどのような製品が誕生し、またどのような人が働いているかご存じでしょうか。リレー形式で、市内の企業やものづくり・人づくりについて紹介しています。



No 6 The company in Shirakawa

(株)大黒屋
DAIKOKUYA

住所：【本店】中町44
【新白河店】西郷村豊作東11
生産品目：和菓子、洋菓子

**人づくり、故郷（まち）をつくる
幸せを運ぶ菓子づくり。**



- ① だるま最中や一刀齋ぱうんど。ほかに地域の特色を生かした商品が並びます
- ② 国道4号沿いにある新白河店。外装の一部に、小峰城の石垣を模したデザインが特徴的
- ③ 社員の皆さん。おもてなしの心で接客や菓子づくりをしています
- ④ 無料の飲み物が用意されたカフェスペース。窓からは那須連峰が望めます
- ⑤ 広々とした店内。約300種類の和菓子・洋菓子のほか、お酒も販売しています
- ⑥ 社長の古川雅裕さん。地域の特色や地元の食材を取り入れた商品を生み出しています

「菓子づくりは、幸せづくり、人づくり、故郷（まち）づくり」。この経営理念のもと、昔ながらの伝統を大切にしつつ、新しいものを取り入れながら、人々に喜んでもらえる菓子づくりを心掛けています」と話す四代目社長の古川雅裕さん。

大黒屋は明治40年に創業し、今年で107周年を迎える老舗の菓子店で、本店と新白河店の2店舗で営業しています。

菓子づくりの原材料には、厳選した安全で安心なものを使用し、水は那須連峰の伏流水を使うなど、素材へのこだわりが感じられます。

商品は、白河だるまをモチーフにした名物の“だるま最中”をはじめ、新選組の齋藤一にちなんだ“一刀齋ぱうんど”など、その多くに白河の歴史や文化を取り入れたものを開発し販売しています。また、地元の食材を使用した商品開発や、市内の酒蔵で造られたお酒を販売するなど、同じ地域で物づくりに携わる人との連携を重視。経営理念が示すとおり、人づくり、まちづくりで地域に貢献しています。

「菓子づくりの魅力は、自分の思いを形にできること。目で、味で楽しんでもらい、その人に幸せを運ぶことができたらうれしいです」と古川さんは笑顔で話してくれました。

白河市民への愛がいっぱい

全国から白河市に多くの義援金・寄附金が届きました。ここでは、8月17日から9月18日までの提供者をご紹介します。義援金・寄附金は、被災者の支援と本市の復興のため、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

振込された方については、カタカナで表記させていただきます。9月19日以降の義援金・寄附金については次号でお伝えします。

- (株)若林商店 様
- Malt Cat's 様
- チャリティテニスフェスティバル2012 様
- (株)ブレマンコンサルタント 様
- U・J (古高山) 様
- 相川洋子 (静岡市) 様

《仮設住宅等支援者をご紹介します》
(8月22日～9月21日)

- 日本カイロプラクターズ協会 様
- 明日飛子ども自立の里 様
- とちぎYMCA 様
- スズヤ鍼灸治療院 様
- 栃木ボランティアネットワーク 様

Introduction of the cover 今月号の表紙

今月号の表紙は、京都を拠点に活躍されている、イラストレーターの渡辺チカラさんに「白河提灯まつり」のイラストを提供していただきました。

渡辺さんが初めて本市を訪れたのは昨年11月。Yammyさんのコンサートで似顔絵サロンをするために同行したのがきっかけです。

今回、渡辺さんのご厚意で、祭りの幻想的な様子をイラストで紹介することができました。ありがとうございました。



渡辺さんは、イラストのほか、絵画制作、似顔絵・肖像画、壁画制作などを手掛けています。イラストや作品の詳細は、ホームページで見ることができます。

▶オフィシャルウェブサイト
<http://chikaraartstudio.jp>